

独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所  
令和3年度 第1回研究倫理審査委員会(安全分野) 議事要旨

開催日時:2021年7月14日(木)13時00分~15時00分

開催場所:オンラインでの開催

事務局:労働安全衛生総合研究所(清瀬地区)機械安全システム実験棟1階温度実験室

出席者:酒井一博委員長、畠中順子委員、松原健一委員、櫻井忠義委員、山下芳嗣(以上、外部委員)、日野泰道委員、八島正明委員、北條理恵子委員(以上内部委員)

オブザーバー:梅崎重夫所長

事務局:清水尚憲、高橋明子(筆責)

## 1. 開会挨拶

## 2. 利益相反3件の確認結果、および自己申告書の確認結果の報告

委員長と事務局により、利益相反申請案件3件(受付番号 R3-B1:「国際的な防爆規制に対する整合性確保のための調査研究(大塚輝人)」、受付番号 R3-B2:「製造現場におけるIoTを活用した安全管理システムに関する研究(北條理恵子)」、受付番号 R3-B3:「製造現場におけるIoTを活用した安全管理システムに関する研究(北條理恵子)」)について、「利益相反の審査と管理に該当しない」ことを申請したものであることを確認した。また、清瀬地区研究員が提出した利益相反自己申告書については1件が利益相反の審査と管理に該当することを確認した。以上の確認結果を報告し、異議はなかった。

## 3. 迅速審査2件の審査結果の承認

今年度実施した迅速審査2件(受付番号 R3-安1:「現場のコロナ対策のための手指消毒の励行に関する安全衛生活動(北條理恵子)」、受付番号 R3-安4:「建設作業者のリスク回避要因に関するインタビュー調査(高橋明子)」)の研究概要と審査結果について説明し、2件ともに「条件付きで承認」されたことを報告して、異議なく承認された。

## 4. 新規申請2件の審査

新規申請が2件あり、審査を行った。その結果、2件とも「条件付き承認」となった。

**受付番号 R3-安2:**「実習受講者への影響を考慮した教示におけるリスク低減効果の検証(北條理恵子)」

申請内容について下記の通り審査結果がまとめられ、以下の指摘に対応するという条件付きで、全員一致で本申請を承認することとなった。

- (1) II-1, 2: 協力者と非協力者の心理的葛藤への対応を検討すること。
- (2) II-3, 4: 事故が起こった場合の対応について申請書へ明記すること。
- (3) II-3, 4: 大学側が保険に入っているかどうかを確認し、申請書へ明記すること。
- (4) III-1-4, 5: 大学側の生データの管理がきっちりなされることを申請書に記述すること。
- (5) VII-2: 添付書類1について、実験は断続的に行うため、予定を研究計画書に明記すること。

- (6) VII-2: 添付書類 1、2 について、実験担当者を職能大の担当者、実験の研究責任者に申請者(北條理恵子)の名前を追記すること。
- (7) VII-2: 添付書類 2 について、個人情報削除したデータが安衛研へ送られることを明記すること。
- (8) VII-2: 添付資料 3 について、職能大の担当者が実験担当者として記載されているが、実験責任者である申請者(北條理恵子)の名前も明記すること。

**受付番号 R3-安 3: 「作業員への影響を考慮した ICT 機器活用におけるリスク低減効果の検証(北條理恵子)」**

申請内容について下記の通り審査結果がまとめられ、以下の指摘に対応するという条件付きで、全員一致で本申請を承認することとなった。

- (1) I-2, 3, 4: 実験条件と研究意義に重複する文章があるので、まとめること。
- (2) I-4: 予備実験と本実験の区別をわかりやすく明記すること。
- (3) V-2, 5, 6: パワハラ、利益相反のような組織としての問題がないことを確認すること。
- (4) V-2, 5, 6: B 社は研究主体なのでインフォームドコンセントも徹底できるが、A 社の従業員に対して不利益を被らせるかどうかは A 社が判断することなので、A 社に不利益に取り扱わないことを約束させること。
- (5) VII-2: 添付資料 2 について、実験参加者の募集時に色覚異常について配慮すること。
- (6) VII-2: 実験の説明をして同意書をとるが、最終意思確認として同意しなくても不利益がないことを口頭でも良いので、説明すること。

**5. 委員長総括**

酒井委員長が中座したため、酒井委員長により畠中委員が副委員長に任命され、総括を行った。

以上